

1. 「鵬(Phoenix)プラン」とは

「鵬プラン」は、2009年度から始まった本校独自のキャリアプランである。生徒ひとりひとりが社会の中で何ができるかという「志」を見出し、進路決定につなげることをめざしている。2019年度からは、SDG sが掲げるグローバルな課題を自分事として意識する観点を導入しており、仙台市が推進する「自分づくり教育」の理念にも合致するものである。

2. 「鵬(Phoenix)プラン」の目的

「鵬プラン」は「生きる力」を育むことを目的としている。

多くの情報の中から正しいものや必要なものを選択し、問いを立て、自分なりの解を表現する力を養うことを目的とし、これに必要とされる「探究心」や「思考力」を身に付けていくことで、今後直面する課題に柔軟に対応できる「生きる力」の獲得につながることをめざしている。

3. 「鵬(Phoenix)プラン」の活動

(1) 探究学習(担当:企画研究部)

①フェニックスゼミ(1年次)

8分野の中から最も関心が高い講座を選び、SDG sが掲げる課題と照らし合わせながら生徒自身がテーマを設定し探究学習を進める。11月に設定したスペシャルデイでどのようなフィールドワークに取り組むかを計画し実行する。探究とスペシャルデイについてスライド資料にまとめ、1月の研究発表会で各講座の探究活動の成果の共有を図る。

②ホームルーム研修旅行(2年次)

クラス毎にテーマや訪問先・研修内容を決定して、11月に3泊4日の研修旅行を実施する。SDG sに関わる研修も必須とする。1月に実施する研修発表会と、全員が研修の成果を寄稿して編集する「研修のまとめ」によって各クラスの探究活動の成果の共有を図る。

③研究レポート(3年次)

1. 2年次の探究を活かしてテーマを設定し「研究レポート」を完成させる。各ホームルームで優秀なレポート・発表を選抜し、学年発表会でその成果の共有を図る。

(2) キャリア教育(担当:進路指導部)

①進路ガイダンス, 大学模擬授業, 未来プラン

1年次は「学問系統別ガイダンス」を実施する。

2年次は「大学模擬授業」での学問的探究心喚起を契機とし、続く「未来プラン」で志向する学問や志望校に応じた志望理由書の作成により、卒業後のキャリアプランの確立を図る。

②卒業生体験談

直近の卒業生から高校生活の送り方や受験勉強の体験談を聞き、大学3・4年生から研究内容や大学生活について聞く、2部構成のパネルディスカッションを行う。

(3) ボランティア学習(担当:生徒指導部) 支援学校交流会, ボランティア学習講演会

(4) 環境教育(担当:生徒指導部) 環境教育講演会

(5) 保健教育(担当:保健部) 保健講話(思春期の性, デートDV, 薬物乱用防止)

(6) 国際理解(担当:英語・国際理解教育部) 国際理解講演会

(7) 主権者教育(担当:2学年・公民科) 模擬投票, 租税講話